

吉田緑こども園  
理事長 長谷川智子

空の色、山の木々、吹く風、秋めいて来ました。

先日の運動参観日(0~2歳)、幼児組の運動会での子ども達。如何でしたか？

子ども達はコロナ禍の夏を乗り越え、自信を持って日々挑戦を積み重ねました。ご家族の前で緊張する子ども、いつも通りの笑顔を見せる子ども、いろいろでしたが、スローガン通りに頑張る姿を見せました。

今まで通りの運動会より規模は小さかったけれど「やって良かった」と心から思いました。ご家族の皆さんの温かい応援があってこそその子どもの育ちです。

子どもはやれば出来る様になるのですネ。

お母様方、子育てが楽しくなくなってはいませんか？子育てに頑張るお母さん。ストレスをためたりしてつらく感じてしまいますよネ。仕事も頑張り、子育ても頑張り、自分の時間が全然なくて益々辛くなります。子どもが何か人と違う事をしてしまうと、私が悪かった等と責任を感じてしまいがちです。

いいんです。そんなに完璧な親でなくても。私はいつも手抜きしていました。私の母親から「あんた、学校のクラスの子と自分の子どもどっちが大切なの。たまには我が子も見てやり」と叱られていました。どっちも大事です。でもできることをやり、我が家はバアちゃんに頼っていました。

未来を生きる子どもたちが、しなやかな「自分を育み、のびのびと生きていけるようになるために、まず関わる親や大人たちの心がのびのびと自由でなければいけません。

臨床心理士 高石恭子

まず親が、ああ気持ちいいネ、と子どもや仲間と共有する時間が一つでも多く見つかるといいですネ。

“親子ふれあい活動“はそんな時間になりましたか。



言葉は人と人をつなぐ大切なツールです。お子さんは今、言葉の意味や使い方、人に伝わる話し方などを体験していく大切な時期です。親子でうれしい言葉を見つけて積極的に使っていきましょう。

### いわれて「うれしい言葉」は？

### 「うれしいことば」をさがしてみよう

ありがとう やさしいね たのしい  
 だいすき！ すごいな よかったね  
 がんばったね だいじょうぶ？  
 いっしょにあそぼう！



### 「悲しい言葉」を言われた時は・・・

「ばか」「あっちいけ」「むかつく」などの悲しい言葉をお子さんにいわれた時は、「その言葉を言われて悲しくなっちゃったな」と率直に伝えます。

乳幼児期は、感情のコントロールを学んでいるところです。発言を禁止するのではなく、言われた相手が悲しそうな保護者を子どもが見ることで「この言葉を使うのはよくないのかな」と感じて、覚えていきます。

### まずは子どもの気持ちを聞いてみましょう

お子さんに、何がイヤだったのかなど、気持ちを聞いてみて下さい。そして「悲しくなっちゃったんだね」「もっと〇〇がしたかったんだね」と、お子さんの言葉を繰り返したり、代弁したりします。

そのうえで「〇〇するといいよ」「こういうふうに行ったらすごいね」などと伝えるようにします。

